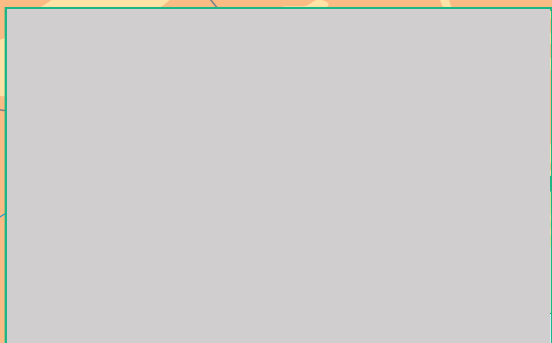


日本の領土問題



地 領地の範囲や変化とその特色

歴 領土の画定(北方領土、竹島・尖閣諸島の編入)

日本は周辺国との間に領土に関わる3つの問題をかかえている。ロシアとの北方領土問題、韓国との竹島問題、中国・台湾との尖閣諸島をめぐる問題(日本政府は、尖閣諸島に領土問題は存在しないとの見解を示している)——関係諸国とは、解決に向けてねばり強い交渉が必要だが、これをきっかけに外交関係が悪化しては、両国にとって不幸である。双方が納得できる解決に向けて、今後の動きが注目される。



竹島問題



	韓国の主張 	日本の見解 
呼称	独島 독도	竹島 たけしま
領有の根拠	古代から記録にある于山国(于山島)は独島のことで、一貫して朝鮮半島の王朝に属しており、1900年には石島として鬱陵郡の管轄となった。1905年の日本の竹島編入は侵略戦争の始まりであるから、無効である。	江戸時代にはアシカ猟などで日本人に利用されており、1905年の閣議決定で正式に日本領となった。これ以前に竹島はいずれの国にも属しておらず、そもそも于山島や石島は竹島のことではない。
解決策	領土問題は存在せず、国際司法裁判所(ICJ、 P.136)に付託する必要はない。	ICJへの共同付託を提案している。
現状	1952年の日本の主権回復の直前、韓国が公海上に李承晩ラインを一方的に設定し、操業していた日本漁船を徹底的に拿捕。また、竹島をラインの内側に取り込み、翌53年から警備隊を常駐させ実効支配している。	

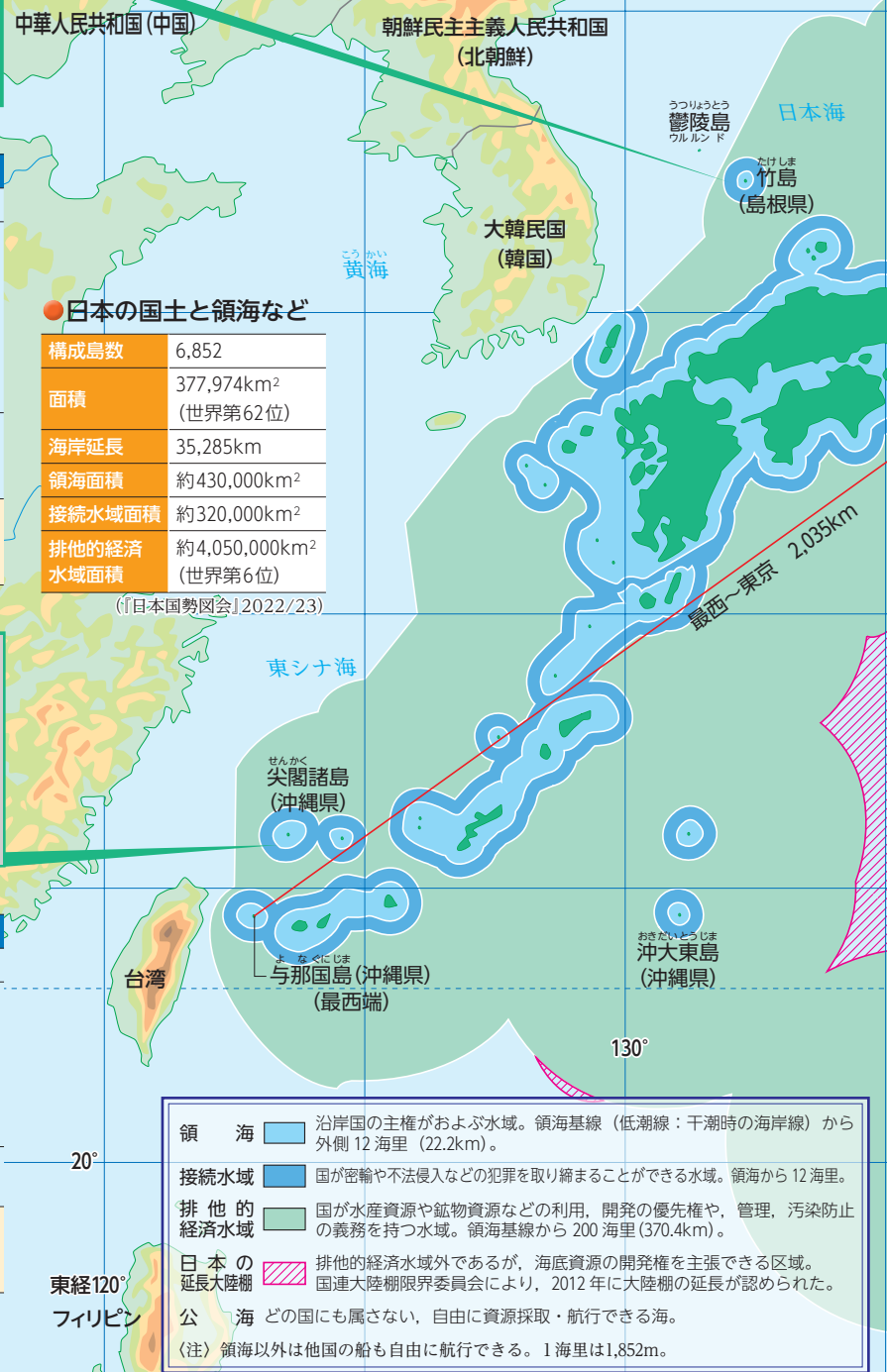
日本の国土と領海など

構成島数	6,852
面積	377,974km ² (世界第62位)
海岸延長	35,285km
領海面積	約430,000km ²
接続水域面積	約320,000km ²
排他的経済水域面積	約4,050,000km ² (世界第6位)

(「日本国勢図会」2022/23)

尖閣諸島をめぐる問題

	中国の主張 	日本の見解 
呼称	釣魚島 釣魚台	尖閣諸島 せんかく
領有の根拠	古来から中国固有の領土であり、中国人が最も早くに発見、命名及び利用していたことを示す歴史資料も多くなる。日本は1894年の日清戦争で尖閣諸島をかすめ取った。	どの国の支配も及んでいないことを慎重に確認した上で、1895年の閣議決定で日本の領土に編入。中国が領有権を主張し始めたのは、石油資源埋蔵の可能性が指摘された1968年以降である。
解決策	話し合いによる解決を主張するも、公船による領海侵犯を繰り返す。	領土問題は存在しないとの立場。
現状	日本が実効支配しているが、尖閣諸島の土地を国有化した2012年以降中国側の強硬姿勢がエスカレートし、中国側の監視船が頻りに領海侵犯を行っている(P.137)。	



領海 沿岸国の主権がおよぶ水域。領海基線(低潮線：干潮時の海岸線)から外側12海里(22.2km)。

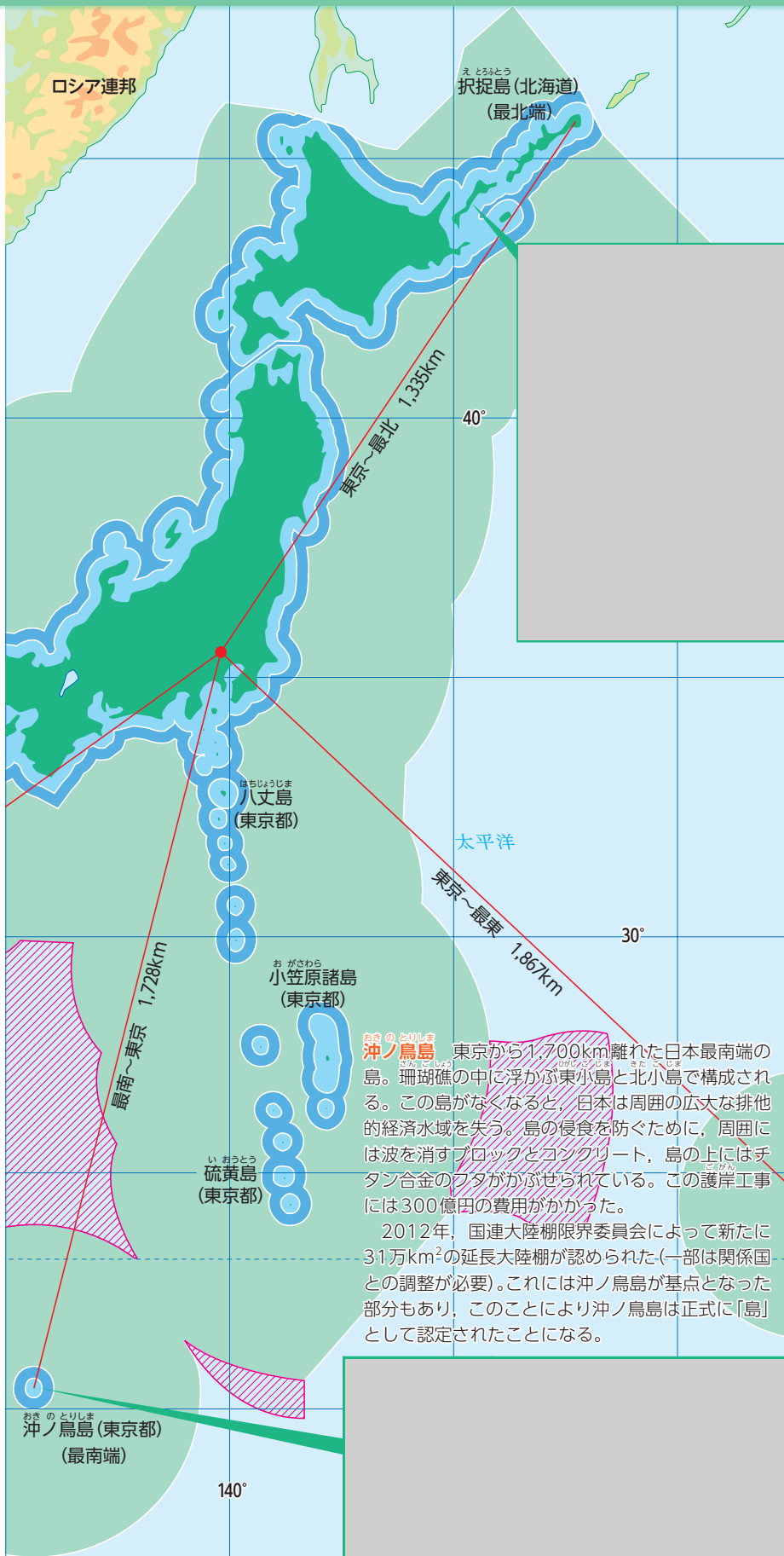
接続水域 国が密輸や不法侵入などの犯罪を取り締まることができる水域。領海から12海里。

排他的経済水域 国が水産資源や鉱物資源などの利用、開発の優先権や、管理、汚染防止の義務を持つ水域。領海基線から200海里(370.4km)。

日本の延長大陸棚 排他的経済水域外であるが、海底資源の開発権を主張できる区域。国連大陸棚限界委員会により、2012年に大陸棚の延長が認められた。

公海 どの国にも属さない、自由に資源採取・航行できる海。



(注) 領海以外は他国の船も自由に航行できる。1海里は1,852m。

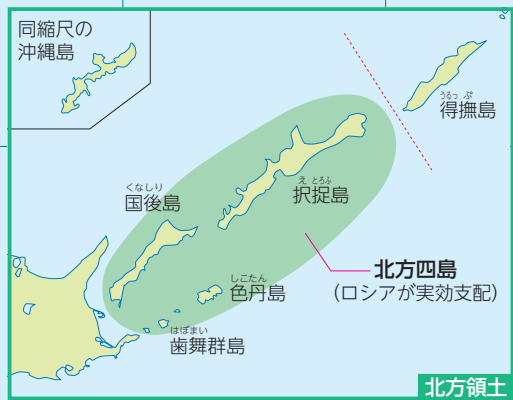


沖ノ鳥島 東京から1,700km離れた日本最南端の島。珊瑚礁の中に浮かぶ東小島と北小島で構成される。この島がなくなると、日本は周囲の広大な排他的経済水域を失う。島の侵食を防ぐために、周囲には波を消すブロックとコンクリート、島の上にはチタン合金のフタがかぶせられている。この護岸工事には300億円の費用がかかった。

2012年、国連大陸棚限界委員会によって新たに31万km²の延長大陸棚が認められた(一部は関係国との調整が必要)。これには沖ノ鳥島が基点となった部分もあり、このことにより沖ノ鳥島は正式に「島」として認定されたことになる。

北方領土問題

	ロシアの主張 	日本の見解 
呼称	クリル	北方領土
領有の根拠	北方領土を含むクリル諸島は、ソ連が第二次世界大戦の結果獲得し、ロシアに引き継がれた領土である。	北方領土は、1855年の日露和親条約締結以来一度も外国の領土となっていない、日本の固有の領土である。また、北方領土はサンフランシスコ平和条約で領有権を放棄した千島列島に含まれておらず、ロシアの実効支配は不法占拠である。
解決策	1956年の日ソ共同宣言は、歯舞群島と色丹島を平和条約締結時に日本へ引き渡すと明記し、1993年の東京宣言では、平和条約締結への取り組みを続けることで合意。ロシア・日本とも、領土問題の存在を前提に話し合いを続け、2016年には北方領土でロシアとの共同経済活動を行うことで合意した。	
現状	第二次世界大戦が終結した1945年以降、ソ連・ロシアの実効支配下にある。	



国際社会